

大の里関の横綱昇進に伴う対応



本県出身力士としては、**輪島関以来52年ぶり**、一昨年5月の初土俵からわずか13場所の**史上最速で、横綱に昇進した大の里関**を県内外で祝福

県庁

- ・懸垂幕の掲示



金沢駅・小松空港・ のと里山空港

- ・力士パネルに
「横綱昇進おめでとう」ボードを設置



八重洲いしかわテラス HOKURIKU+ (大阪) 名古屋観光物産案内所

- ・力士パネルを新たに設置
- ・地酒の振る舞いやのぼり旗設置など



→ **県民栄誉賞の授与について、ご本人の意向を確認中**

R 6 最終補正予算（専決）について



《 R 6 . 3 月補正からの主な歳入増 》

※以下、主な増額補正

好調な税収 及び **地震・豪雨に対する国の手厚い財政措置**（特別交付税）

好調な 税 収

- **実質県税 : + 6 6 億円**

製造業を中心とした好調な企業業績などを背景に、
昨年度に引き続き、**実質県税は過去最高**となる見込み

《 R6見込み : 2,203億円 R5 : 2,071億円 》

〈 4 年連続で過去最高 〉

国の手厚い 財政措置

- **地方交付税 : + 8 7 億円**

地震・豪雨への対応を中心とする**特別交付税が
追加交付**（3月決定）

R 6 最終補正予算（専決）について



能登の復旧・復興 及び 成長戦略の実現 に向けた財源確保を行うとともに、持続可能な財政運営に向けた**財政健全化**の取り組みを推進

能登の復旧・復興 に向けた財源確保

● 財政調整基金の取崩を 80 億円 全額取止め

▶ 財政調整基金：地震前の残高水準に復元

（地震前の水準） 144.5 億円

（取止後の基金残高） 143.4 億円（R7当初予算 25億円 取崩後）

成長戦略の実現 に向けた財源確保

● 県有施設整備基金に 30 億円 を積立 （残高：454億円▶484億円）

▶ 今後の大規模プロジェクトを見据えた備え

財政の健全化

● 県債 30 億円 の発行抑制 （R6発行額：1,483億円▶1,453億円）

▶ 将来の公債費負担の軽減

財政運営の方針

今後、地震・豪雨対応に係る県債残高の増加に伴う公債費に加え、社会保障関係経費や人件費などの義務的経費の増加、復旧・復興や大型プロジェクトに係る財政需要も見込まれるなど、厳しい財政状況であり、引き続き、持続可能な財政運営に努めていく。

→（県債残高）R6末見込み：1兆2,274億円（対前年比：+693億円） ※ 県債発行抑制後

財政課 076(225)1256
税務課 076(225)1271

第2回のとマルチセクター・ダイアローグの開催

- 6月14日、**経済同友会**が「**第2回のとマルチセクター・ダイアローグ**」を開催
- 能登の復興に向けて、**経済同友会の会員が能登内外の様々なプレイヤーや自治体等※と対話し、支援プロジェクトのあり方を議論**

※県内大学や能登を支援する企業・地場産業の経営者、市町職員など

創造的復興推進課 076(225)1981

第1回の概要

主 催：公益社団法人経済同友会
開催日：令和6年11月9日(土)
会 場：のと里山空港仮設飲食店街「NOTOMORI」
内 容：1.被災地視察(輪島市、珠洲市、能登町等)
2.テーマ別グループセッション
参加者：経済同友会正副代表幹事、企業経営者、NPO、行政関係者 など約100名

成 果：第2回に向けて、教育や関係人口等の6つの分野で継続的に検討していくことを確認



第2回の概要

開催日：令和7年6月14日(土) 10:30-16:00
会 場：のと里山空港仮設飲食店街「NOTOMORI」
内 容：1.被災地視察(輪島市を予定)
2.テーマ別グループセッション

①子ども／教育

④観光

②食

⑤関係人口

③復興拠点／アート

⑥ディザスターシティ

参加者：経済同友会正副代表幹事、企業経営者、NPO、行政関係者 など約100名

テーマごとに具体的なプロジェクト形成について議論し、復興気運を一段引き上げ、将来に向けた展望・希望を見出す

「デジタル活用ものづくり支援センター」の機能強化



「デジタル活用ものづくり支援センター」（工業試験場内）について（R6.6月開設）

目 的

現物を試作することなくコンピュータ上で設計・試作を行うといった**デジタルシミュレーションの導入**による迅速・効率的なものづくりの実現を支援し、県内企業の競争力向上を図るため設置



- ### 主な取組内容
- 研修会の開催などデジタルシミュレーション技術の活用に向けた**人材育成**
 - **県内企業が取り組む**、最新のデジタル技術を搭載した**製品開発を支援**

R6利用実績

延べ約 2, 2 0 0 件の利用、機械・金属加工業中心に高い関心

（利用者の声）
・新製品の試作回数を減らし効率的に開発を行うことができた
・加工方法を自動で最適化する工作機械の新規開発に着手できた

＜県内企業の更なるニーズ＞

- 人手不足等への対応が求められる中、**県内企業では、生産性向上に向けたロボット導入への関心が高い**
- また、専門知識や安全柵を必要としない**「協働ロボット」を活用することにより、食品・繊維業を含めた中小企業にもロボット導入の裾野が広がることに期待**

「デジタル活用ものづくり支援センター」の機能強化



- 県内企業の声を踏まえ、「デジタル活用ものづくり支援センター」に、ロボット導入を**ワンストップで支援する機能を新たに付加**
- キックオフセミナー開催（6月6日）を皮切りに、**ロボット導入の普及啓発から、現地指導、人材育成、マッチング、導入支援まで、一気通貫での支援を開始**

ロボット導入のワンストップ支援



キックオフセミナー「失敗しないロボット導入とその将来」

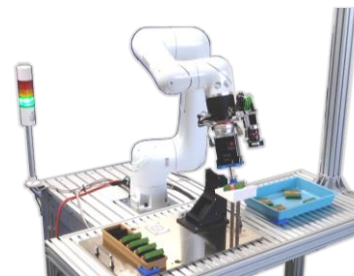
日時：6月6日（金）13:30～16:30

場所：石川県地場産業振興センター本館3階 第5研修室

内容：ロボット導入メリット、成功事例に関する講演等



▲申込みはこちら
(5/30まで)



協働ロボット（工業試験場内）

任期付職員（技術）の随時募集



- 能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興のため、任期付職員の任用や全国からの応援職員の派遣により職員の増員を図ってきたが、**依然としてマンパワーが不足**
- 特に不足している**技術職の採用を強化するため**、任期付職員を追加で**随時募集**

本日(5月29日)から募集開始！

実施内容

受験資格	R7年度末で18歳以上（ 年齢上限なし ）＋各種資格、実務経験など
募集人員	66名程度
試験日程	随時 （申込受付期間：5/29（木）～12/31（水））
試験方法	1次:経歴・論文審査 2次:面接試験、適性検査
採用時期	随時（年度途中の採用も行う方針）

農学(農業・畜産)：7名程度
林学：7名程度
総合土木：47名程度
建築：2名程度
機械：3名程度



人事・組織経営課076(225)1242